



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

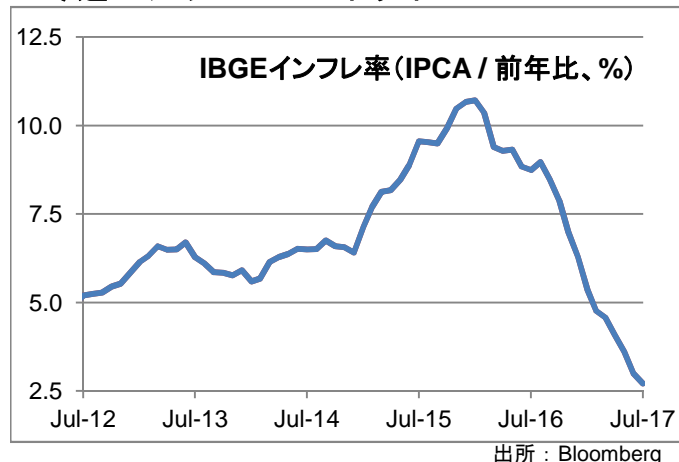
			8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1260	3.1270	3.1560	3.1760	3.1940	+0.0180
	BRL/JPY	Spot	35.43	35.29	34.86	34.39	34.19	-0.20
	EUR/USD	Spot	1.1795	1.1754	1.1758	1.1773	1.1821	+0.0048
	USD/JPY	Spot	110.77	110.35	110.02	109.20	109.19	-0.01
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.06	8.05	8.04	8.04	8.04	-0.0004
	Future	1Year(p.a.)	7.91	7.90	7.91	7.91	7.93	+0.0157
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.243	2.190	2.262	2.152	2.147	-0.005
	USD	1Year(p.a.)	2.339	2.350	2.387	2.374	2.412	+0.038
株式	Bovespa指数		67,939.69	67,898.94	67,671.06	66,992.06	67,358.56	+366.50
CDS	CDS Brazil 5y		193.30	197.16	199.83	207.44	205.04	-2.40
商品	CRB指数		180.971	181.089	181.556	178.914	179.606	+0.692

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは北朝鮮を巡るリスクオフの動きから軟調に推移。週末の引けにかけて一時3.21台後半へ急落。
- 週初のレアルは3.1310で寄り付いた。週前半は特段の材料が無い中で3.12から3.14のレンジで揉み合いが継続。その後、米国と北朝鮮との間で緊張が高まったことを受けて新興国通貨を始めとするリスク資産が売られる中、伯政府が財政赤字目標を下方修正する可能性が強まったことでレアルは3.1800まで下げた。米消費者物価指数が予想を下回り、米追加利上げ観測が遠のいたことで買い戻しの動きも見られたが、流動性が低下する週末の引けにかけて急落。200日移動平均となる3.21台半ばを割り、7月中旬以来となる3.2180をつけ、結局3.1940で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.34%、2018年が2.00%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.40%から3.45%へ上方修正されたが、2018年は4.20%で据え置き。為替レートは2017年末が3.30から3.25へ、2018年末は3.43から3.40へレアル高方向に修正された。
- 今週、伯政府が2017年、2018年の財政赤字目標について下方修正を発表するとの報道が続いた。2017年の赤字目標は▲1,390億レアルから▲1,590億レアルへの修正が予想されており、来週14日に発表されるものと見られている。
- 米国と北朝鮮との間で緊張が高まる中、週後半にかけて世界的にリスク回避の動きが拡大した。5月中旬以来の高値へ上昇していたボベスパ指数は上げ幅を縮小。ブラジル国債の5年物CDSスプレッドは週前半には一時約194bpsまで縮小していたが、再び200bpsを上回る水準に拡大している。

3. 今週のチャート&ハイライト



7月の伯インフレ率は1999年2月以来の水準へ低下

9日に発表された7月の伯インフレ率(IPCA)は前年比+2.71%へ低下。1999年2月以来の低い水準となり、伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3.0% - 6.0%)を下回っていることが確認された。引き続き食料価格が前月比で下落したほか、家事用品や衣料価格が下落。伯中銀による金融緩和の継続をサポートする内容となったが、概ね想定範囲内だったことから市場の反応は限られた。金利先物市場が織り込む次回COPOM(9月5-6日開催)での利下げ幅は11日時点で約0.89%の水準となっているほか、年末時点の政策金利を7.5%程度と予想している。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.15—3.25

来週のレアルは財政赤字目標の見直しや、地政学リスクへの警戒感を背景に軟調な動きを予想する。伯政府は週初の14日に財政赤字目標の下方修正を発表すると見られている。また、S&Pは現在「BB」としているブラジルの格付を今年5月22日に引き下げ方向でクレジットウォッチに指定しており、財政赤字目標の見直しが格下げのきっかけとなりかねないことから、財政赤字を巡る動向に注意を要する。また、米国と北朝鮮を巡る地政学的リスクにも注意したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	消費者物価指数(前月比)	0.2%	0.1%	0.0%
米	消費者物価指数(前年比)	1.8%	1.7%	1.6%
米	実質平均週賃金(前年比)	--	1.1%	1.1%
米	実質平均時給(前年比)	--	0.7%	0.8%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/15	小売売上高(前月比)	Jun	0.2%	-0.1%
ブラジル	8/15	小売売上高(前年比)	Jun	1.1%	2.4%
米	8/15	小売売上高速報(前月比)	Jul	0.4%	-0.2%
ブラジル	8/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Aug	-0.07%	-0.84%
ブラジル	8/16	FGV CPI IPC-S	Aug 15	--	0.41%
ブラジル	8/16	IBGEサービス部門売上高 前年比	Jun	--	-1.9%
米	8/16	住宅着工件数	Jul	1222k	1215k
ブラジル	8/17	経済活動(前月比)	Jun	--	-0.51%
ブラジル	8/17	経済活動(前年比)	Jun	--	1.40%
ブラジル	8/17	CNI産業信頼感	Aug	--	50.6
米	8/17	鉱工業生産(前月比)	Jul	0.3%	0.4%
米	8/17	先行指数	Jul	0.3%	0.6%
ブラジル	8/18	FIPE CPI-週次	Aug 15	--	0.04%
ブラジル	8/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Aug	--	-0.71%
米	8/18	ミシガン大学消費者マインド	Aug	94.0	93.4

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。